

つたえる地域 つながる地域

# 文化、教育 日中交流推進

## 光星学院、日本語学校と協定締結

八戸

八戸市の学校法人光星学院（法官新一理事長）は21日、主に中国からの留学生に対する日本語教育と進学サポートを行う、フジ国際語学院（東京、山中小白代表）と連携協定を締結した。今後、留学生を受け入れるなどして日中西国間で文化・教育分野での交流推進につなげる方針。（金濱千優希）

### 留学生受け入れ

フジ国際語学院は、1989年に創立された日本語学校。これまでに多くの卒業生を輩出し、国内大学への進学を手助けしてきた。

光星学院では現在、八戸学院大、同短期大学部で中国、フィリピンなど4カ国の留学生15人が学んでおり、今回を機に学生間や八戸圏域との異文化交流を促したい考え。早ければ2022年度の新入生として留学生を受け入れる。

同日、八戸学院大で行われた締結式では、法官理事長のほか、リモートで山中代表らが出席し、協定書に調印。

山中代表は「日中の垣根を越えたグローバル人材の育成や、両学院の発展に期待する」、法官理事長は「今回を機に中国人留学生の受け入れも拡大し、地域社会の活性化などを目指したい」と話した。

光星学院はこのほか、日本語学校の「天津市河西区行知学園日語培训学校有限公司」（中国）とも連携協定を結んだ。



調印した協定書を手にする法官新一理事長（左）と山中小白代表